



「松陵新校開校ニュース」では、平成 25 年 4 月の泉松陵小学校開校に向けた準備の概要等を、学区内にお住まいの皆様にお知らせします。

松陵新校開校準備委員会での協議が終了しました



新たな小学校の開校に向けて、24 年 4 月から松陵新校開校準備委員会で話し合いが進められてきました。2 つの部会での協議も含め、新校開校に伴う全ての検討事項が最終的に確認されましたので、2 月 23 日の第 6 回をもって委員会での協議を終了しました。

委員会の最後に、委員長を務めた高橋校長から「委員会では常に子どもたちのことを中心に話をしてもらえた。4 月以降も地域全体で見守っていただきたい」と保護者や地域の皆様への感謝の言葉が、また、委員長代理を務めた横山校長から「子どもたちがけやき山に植えた両小の校木を見ながら、泉松陵小はこんなにいい学校になったねと言える学校にしたい」と新校への期待が、それぞれ述べられました。

いよいよ 4 月には、泉松陵小学校が 126 番目の市立小学校として開校します。この 1 年間、委員会や 2 つの部会の委員となっていたいただいた保護者や地域の皆様を始め、新校開校準備にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



泉松陵小学校の学校教育目標（案）

「豊かな心と健やかな体をもち 自ら考え 未来を切り拓く児童の育成」

泉松陵小学校の学校教育目標（案）は、次の 4 つの視点から設定しました。

- 1) 2 校の統合から誕生する新校という視点
- 2) 学習指導要領の視点
- 3) 仙台市教育振興基本計画の視点
- 4) 震災からの復興という視点

学校教育目標には泉松陵小学校で育成したい児童の姿を掲げています。

- 「豊かな心」 統合によって誕生するという成り立ちから「互いを認め、助け合う心」「思いやりの心」「感謝する心」「感動する心」をもつ児童の姿として最初に掲げています。
- 「健やかな体」 「食習慣」「運動習慣」「生活習慣」を身につけさせることで育まれるものとして、「豊かな心」と対をなす形で掲げています。
- 「自ら考え」 学習指導要領における「基礎的知識」や「応用力」、「学習意欲」等の『確かな学力』を身につけた姿として掲げています。
- 「未来を切り拓く」 21 世紀に生きる子どもたちが、震災を乗り越え、目的をもって未来に向かってチャレンジする行動力を表すものとして掲げています。

お問い合わせは… 【松陵新校開校準備委員会事務局】（仙台市教育委員会学校規模適正化推進室）

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4 丁目 1-25 東二番丁スクエア 2 階

TEL:214-8432 FAX:264-4428 E-mail:kyo019031@city.sendai.jp

泉 松 陵 小 学 校 ～ 学 校 行 事 な ど ～

泉松陵小学校は 364 名の子どもたちとともにスタートします



泉松陵小学校は、これまで両小に在籍していた 2 年生から 5 年生に、新たに入学する 1 年生を加えた 364 名の子どもたちとともにスタートします。1 年間の交流の中で友だちとなった子どもたちが待ちに待った開校です。地域の皆様にはこれまでと同様に子どもたちを温かく見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、特別支援学級の名前は、校名案選定の際に候補の 1 つとなった「松陵双葉小学校」を活かして、「ふたば学級」とすることになりました。

【25 年度予定児童数】 ※H25. 2. 1 現在

(人・学級数)

学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	ふたば	計
人数	46 (2)	60 (2)	62 (2)	65 (2)	59 (2)	62 (2)	10 (3)	364

25 年度の主な学校行事をご紹介します

泉松陵小では、これまで両校が行ってきたものを取り入れながら様々な行事を行います。

特に運動会は、学校・町内会・学区民体育振興会・PTA の共催により、お互いの連携と親睦を深められるよう、「開校記念大運動会」として 9 月 21 日に盛大に行う予定です。

また、ここにご紹介する学校行事以外にも、地域の皆様と一体となった特色ある活動も行っていますので、引き続き皆様のご支援とご協力をよろしくお願いします。

【25 年度の主な学校行事】(予定)

- 4 月 泉松陵小学校開校式、第 1 学期始業式、入学式
- 5 月 野外活動 (4・5 年)
- 6 月 修学旅行 (6 年・東京方面)
- 7 月 児童会祭り
- 9 月 開校記念大運動会、仙台市陸上記録会 (6 年)
- 10 月 第 2 学期始業式
- 11 月 学芸会
- 12 月 持久走大会
- 1 月 スキー教室 (3～6 年)、雪山体験 (2 年)
- 3 月 卒業式、修了式



特色ある活動 (加美町での農業体験を通した食育活動)

泉 松 陵 小 学 校 ～ 教 育 環 境 の 整 備 ～

泉松陵小と松陵中の連携を進めます

新年度から、泉松陵小と松陵中とが連携して実践する「中学校区・学びの連携モデル事業」の準備を進めています。

「中１ソフトランディングプラン」の実施など３つの事業を柱として、小・中学校が一体となって義務教育９年間を通して子どもたちを育てていけるような環境を整備します。

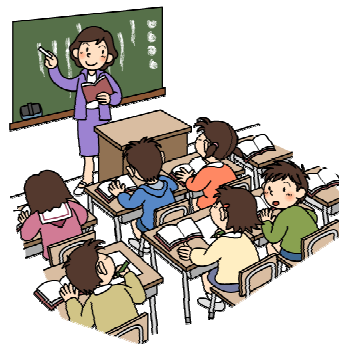
なお、具体的な実施内容等については、今後両校間で協議していきます。

【中学校区・学びの連携事業】

○中１ソフトランディングプランの実施

中学校進学時の環境変化により生じるギャップの解消に向けた様々な取り組みを行います。

- ・小・中学校での連続性を意識した教育課程の編成と組織づくりを行います。
- ・小学校高学年での一部教科に教科担任制を導入します。
- ・中学校の先生が小学校に来て児童や授業の様子を見学したり、小学校の先生が中学校に行ったりするなど、小・中学校間の交流を工夫します。



○学校支援地域本部の拡充

中学校区全体で１つの学校支援地域本部を設置し、これまで以上に保護者や地域の皆様と連携できるような体制づくりをします。

○小・中一貫したカリキュラムでの自分づくり教育

子どもたちが、25歳の自分の姿をイメージしながら、社会的・職業的に自立できる力を育んでいけるよう、小・中一貫したカリキュラムで自分づくり教育を行います。

泉松陵小の環境整備を進めています

現在、松陵西小の各階にある５箇所の女子トイレについて一部洋式化を進めています。

また、24年４月に、仙台市教育長・市民局長・泉区長の連名で松陵３丁目４丁目交差点への信号機の設置に向けた要望書を宮城県公安委員会あてに提出しましたが、震災で被災した地域の信号再設置が優先されたことから、24年度については設置されませんでした。

本交差点への信号機設置は、通学時の児童の安全確保など今後の松陵地域全体のまちづくりと安全安心を確保するうえで不可欠ですので、25年度の設置に向けて、２月８日に前回と同じように連名で宮城県公安委員会あての設置要望書を再度提出しました。



松陵小学校跡施設利活用計画（案）の検討を進めています

松陵小跡施設をどのように利活用していくかを話し合う「松陵小学校跡施設利活用協議会」が行われています。2月14日に第4回利活用協議会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

なお、利活用協議会での検討状況については、今後も地域の皆様にお知らせいたします。

地域利用ゾーンの方向性について意見交換しました



話し合いのコーディネーターと専門家の視点からさまざまな提案をしてもらうため、仙台市から派遣された「まちづくりアドバイザー」の高橋雄志さんが、今回の利活用協議会から参加することになりました。

地域利用ゾーンの方向性を検討するにあたり、利活用事業を単なる跡施設の有効活用だけではなく、松陵地域が一体となったまちづくりに向けた取組みの一つとして、利活用協議会と地域組織がお互いに連携し、地域全体がまちづくり活動の担い手となって、安全・安心な地域づくりを進めていくことを確認しました。

引き続き松陵地域の特性や課題について意見交換を行い、委員一人ひとりの思いや感じていることが発表されました。委員からは「閑静な住宅地で自然に恵まれた大変住みよい地域であること」、他の地域にお住まいの委員からの「盛大な夏祭りがうらやましい」といった意見、また、「全体として高齢化が進行してきている」、「商店街が育たない」といった、様々な意見が出されました。

5月に開催予定の次回利活用協議会では、今回委員から出された地域の特性や課題をもとに、地域活性化のための具体的な事業内容のアイデアについて意見交換する予定です。

博物館から市利用ゾーンの事業案が提案されました

第3回利活用協議会で了承された「松陵小学校跡施設利活用計画骨子」では、松陵小跡施設は仙台市と地域でそれぞれ利活用する複合施設になる予定です。

このうち市利用ゾーンの事業内容として、仙台市博物館から市史編さん収集資料を活用した新たな事業が提案されました。

【市史編さん収集資料を活用した博物館の新事業 ～主な提案内容～】

〔事業の目的〕

- 20年以上にわたる市史編さん事業の成果を展開する新しい活動の場所として
- 博物館と地域や各種機関・団体が連携・協働して地域活性化へつなげる場所として

〔事業の内容〕

- ①普及事業：市史編さん事業の成果を活用し、さまざまな「連携」をキーワードとした新たな普及活動を行う
- ②保存事業：市史収集資料を将来へ残すために保存し、さまざまな学習活動の中で活用する
- ③調査研究事業：市史収集資料を核として、仙台の歴史を調査・研究する拠点の1つとなる

